

平成 29 年度

野田村内道路橋定期点検結果

～2.0m以上 14.5m未満～

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 51"	
				経度	141° 49' 30"	
下新山橋 シモニヤマバシ	袋港線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.18	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁					
	横桁					
	床版	I				
下部構造	I					
支承部						
その他	II	路面の凹凸	橋面A2側			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1989年	3m	5.10m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 45"	
				経度	141° 48' 49"	
村山橋 ムヤマバシ	寺前秋田線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.18	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		II	土砂詰まり	写真1、橋面路肩			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側		終点側
不明	14m	5.30m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 41"	
				経度	141° 48' 56"	
寺前橋 テラマエバシ	寺前線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.11	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I				
	横桁					
	床版					
下部構造	I					
支承部	I					
その他	I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1977年	5m	4.70m

起点側



終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 39"	
				経度	141° 48' 55"	
三十刈橋 サンジュウガリバシ	高校通り線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.11	水路	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁					
	横桁					
	床版	I				
下部構造	I					
支承部						
その他	II	路面の凹凸	写真1、橋面右路肩			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側		終点側
不明	3m	16.70m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 42"	
				経度	141° 48' 45"	
寺ノ沢橋 テラノサワバン	高校通り線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.12	河川	有	一般道	その他	上水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者 (株)岩手建設コンサルタント 点検責任者 佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁					
	横桁					
	床版	I				
下部構造	I					
支承部	I					
その他	III	路面の凹凸	写真1、橋面A2側歩道			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1996年	12m	12.80m		
				

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 29"	
				経度	141° 48' 55"	
法理橋 ホウリバシ	城内二又線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.12	河川	有	一般道	その他	上水道管 下水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			(株)岩手建設コンサルタント		点検責任者		佐藤 裕之	
点検時に記録				措置後に記録				
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	III	剥離・鉄筋露出		写真1、主桁02			
	横桁	I						
	床版	I						
下部構造	I							
支承部	I							
その他	II	舗装の異常		写真2、橋面				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	主桁下面に剥離・鉄筋の露出が確認される。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1960年	7m	6.80m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 05' 56"	
				経度	141° 48' 11"	
姉敢橋 アネトリバシ	城内二又線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.12	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	㈱岩手建設コンサルタント	点検責任者	佐藤 裕之
点検時に記録				措置後に記録			
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁						
	横桁						
	床版	I					
下部構造	I						
支承部	I						
その他	I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)			
点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
不明	13m	7.90m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 31"	
				経度	141° 49' 04"	
小田川橋 オダガワバシ	前田小田川線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.12	河川	有	一般道	その他	上水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				(株)岩手建設コンサルタント		点検責任者		佐藤 裕之	
点検時に記録				措置後に記録					
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	I							
	横桁								
	床版	I							
下部構造		II	剥離・鉄筋露出	写真1、A2橋台 縦壁					
支承部		I							
その他		II	変形・欠損	写真2、排水管(A2右)					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	A2橋台 縦壁 上流端部に鉄筋露出が確認される。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
不明	10m	5.60m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 30"
				経度	141° 48' 14"
明内橋 ミヨウナイバシ	明内中平線	岩手県九戸郡野田村野田			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
野田村	2017.12.12	河川	有	一般道	その他
占用物件(名称)					
上水道管					

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I				
	横桁					
	床版	I				
下部構造	I					
支承部	I					
その他	I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
2008年	14m	6.20m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 40"	
				経度	141° 48' 14"	
秋田1号橋 アキタ1ゴウバシ	秋田線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.13	河川	有	一般道	その他	上水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		II	腐食	写真1、排水管(A2右)			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側		終点側
1976年	9m	5.50m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 43"	
				経度	141° 48' 06"	
秋田2号橋 アキタ2ゴウバシ	秋田線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.13	河川	無	一般道	その他	上水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				(株)岩手建設コンサルタント		点検責任者		佐藤 裕之	
点検時に記録				措置後に記録					
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	I							
	横桁								
	床版	I							
下部構造		I							
支承部		I							
その他		II	変形・欠損	写真2、排水管(A2右)					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1976年	13m	5.50m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 22"	
				経度	141° 47' 47"	
平清水橋 ヒラシミズバシ	平清水線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.14	河川	有	一般道	その他	上水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		II	路面の凹凸	写真1、橋面A2左側			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1972年	11m	5.40m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 17"	
				経度	141° 47' 26"	
坂ノ下橋 サカノシタバシ	中平上明内線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.14	河川	有	一般道	その他	上水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者 (株)岩手建設コンサルタント 点検責任者 佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	II	漏水・遊離石灰	写真1、床版12・13			
下部構造		I					
支承部		I					
その他		II	変形・欠損	写真2、防護柵(左)			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) II	(所見等) 間詰め床版に錆汁を伴う遊離石灰が確認される。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側		終点側
1970年	9m	5.10m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 04' 48"	
				経度	141° 46' 36"	
小松橋 コマツバシ	大葛日形井線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.15	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	II	漏水・遊離石灰	写真1、床版8~14			
下部構造		I					
支承部		I					
その他		II	変形・欠損	写真2、防護柵(左)			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) II	(所見等) 間詰め床版につらら状の遊離石灰が確認される。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側		終点側
1971年	13m	7.20m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 05' 12"	
				経度	141° 46' 11"	
松嘉橋 マッカバシ	種綿線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.15	河川	有	一般道	その他	上水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者 (株)岩手建設コンサルタント 点検責任者 佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	剥離・鉄筋露出 写真1、主桁01			
	横桁					
	床版					
下部構造	I					
支承部						
その他	II	舗装の異常	写真2、橋面A1側			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	主桁下面に剥離及び鉄筋露出が確認される。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側		終点側
不明	5m	4.10m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 05' 06"
				経度	141° 45' 55"
川畑橋 カワバタバシ	種綿線	岩手県九戸郡野田村野田			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
野田村	2017.12.15	河川	無	一般道	その他
					占用物件(名称)
					上水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁					
	横桁					
	床版					
下部構造	I					
支承部						
その他	II	路面の凹凸	写真1、A2橋台背面			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側		終点側
不明	4m	4.80m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 05' 33"	
				経度	141° 49' 00"	
中の橋 ナカノハシ	和野平線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.12.15	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	II	漏水・遊離石灰	写真1、床版04			
下部構造		I					
支承部		I					
その他		II	舗装の異常	写真2、橋面			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) II	(所見等) 床版に泥を含む漏水があり、直上に路面ひびわれが確認される。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1966年	6m	6.15m		
				

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

平成 29 年度
野田村内道路橋定期点検結果
～14.5m以上～

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 04' 47"	
				経度	141° 46' 40"	
日形井橋 ヒガタイバシ	城内二又線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.19	河川	無	一般道	その他	上水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			(株)岩手建設コンサルタント		点検責任者		佐藤 裕之	
点検時に記録				措置後に記録				
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版	I						
下部構造	II	剥離・鉄筋露出	写真1、P1橋脚梁部					
支承部	I							
その他	I							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) P1橋脚梁部に鉄筋の露出及び著しい腐食が確認される。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1975年	16m	7.60m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 18"	
				経度	141° 49' 12"	
三日市場橋 ミツカイチバシ	三日市場線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.19	河川	有	一般道	その他	上水道管 NTTケーブル管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁	I					
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		II	ゆるみ・脱着	写真1、支承Ba2-1			
その他		II	剥離・鉄筋露出	写真2、地覆(右)			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) II	(所見等) 支承部アンカーボルトにゆるみが確認される。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1975年	36m	6.30m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 13"	
				経度	141° 49' 00"	
松川橋 マツカワバシ	松川線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.19	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1981年	31m	6.60m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 01"	
				経度	141° 48' 34"	
泉沢橋 イズミサワバシ	米田中平線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.19	河川	有	一般道	その他	上水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	ひびわれ	写真1、主桁01			
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	主桁端部にひびわれが確認される。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1993年	26m	8.20m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 04' 47"	
				経度	141° 49' 52"	
玉川みなと橋 タマガワミナトバシ	横小路線	岩手県九戸郡野田村玉川				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.20	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	(株)岩手建設コンサルタント	点検責任者	佐藤 裕之
点検時に記録				措置後に記録			
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁						
	横桁						
	床版	I					
下部構造	II	ひびわれ	写真1、A1橋台豎壁				
支承部	I						
その他	II	舗装の異常	写真2、橋面(歩道)				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)			
点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	両橋台豎壁に最大幅0.9mmのひびわれが確認される。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
2004年	22m	12.60m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 04' 42"	
				経度	141° 49' 39"	
玉川上の橋 タマガワカミノハシ	横小路線	岩手県九戸郡野田村玉川				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.20	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				(株)岩手建設コンサルタント		点検責任者		佐藤 裕之	
点検時に記録				措置後に記録					
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)		措置後の 判定区分		変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I							
	横桁								
	床版	I							
下部構造		II	ひびわれ	写真1、A2橋台堅壁					
支承部		I							
その他		II	路面の凹凸	写真2、A1橋台背面					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録				措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	両橋台堅壁に0.15~0.30mmのひびわれが確認される。		(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II					

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
2003年	23m	11.20m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 04' 47"
				経度	141° 49' 43"
玉川中の橋 タマガワナカノハシ	横小路2号線	岩手県九戸郡野田村玉川			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
野田村	2017.10.20	河川	有	一般道	その他
					占用物件(名称)
					上水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I				
	横桁	I				
	床版	I				
下部構造	II	剥離・鉄筋露出	写真1、A1橋台胸壁			
支承部	I					
その他	II	路面の凹凸	写真2、A1橋台背面			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) II	(所見等) A1橋台胸壁に剥離・鉄筋露出が確認される。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1970年	26m	4.70m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 04' 47"	
				経度	141° 49' 51"	
玉川下の橋 タマガワシモノハシ	館公園線	岩手県九戸郡野田村玉川				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.20	河川	無	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		II	剥離・鉄筋露出	写真1、P1橋脚梁部			
支承部		I					
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) II	(所見等) 橋脚梁部に凍害による剥離・鉄筋露出が確認される。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1971年	27m	4.80m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 34"	
				経度	141° 49' 29"	
葦畑橋 ニラバタケバシ	前浜線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.20	河川	無	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁	I					
	床版	I					
下部構造		III	腐食	写真1、P1橋脚基礎			
支承部		II	ゆるみ・脱落	写真2、支承Ba1-1			
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分) III	(所見等)	橋脚 杭基礎に腐食、全アンカーボルトにゆるみが確認される。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
2014年	39m	3.50m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 03' 34"	
				経度	141° 46' 11"	
日形井橋 ヒガタイバシ	大葛日形井線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.19	河川	無	一般道	その他	上水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	腐食	写真1、主桁01		
	横桁	II	腐食	写真2、横桁01		
	床版	I				
下部構造	I					
支承部	II	腐食	写真3、支承1-1			
その他	II	変形・欠損	写真4、排水管2-2			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 鋼部材の広範囲に腐食が確認される。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1969年	18m	4.70m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 57"	
				経度	141° 48' 35"	
高校通学路橋 コウコウツウガクロバシ	高校北線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.18	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	III	腐食	写真1、主桁02			
	横桁	I					
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		III	腐食・膨張	写真2、支承2-1			
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) III	(所見等) A2側の支承に膨張を伴う腐食が確認される。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
1980年	41m	2.80m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 29"	
				経度	141° 48' 52"	
日向橋 ヒナタシタバシ	日向3号線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.18	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		II	漏水・遊離石灰	写真1、地覆(右)			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
2002年	19m	8.0m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 05' 46"	
				経度	141° 49' 24"	
下米田橋 シモマイタバシ	米田中央線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.20	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
2012年	15m	6.50m		
				

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 05' 57"	
				経度	141° 47' 56"	
地蔵平橋 ジゾウタイバン	明内泉沢線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.19	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁					
	横桁					
	床版					
下部構造	I					
支承部	I					
その他	I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
2008年	28m	6.20m		
				

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 06' 24"	
				経度	141° 49' 20"	
コウラゲ橋 コウラゲバス	コウラゲ線	岩手県九戸郡野田村野田				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
野田村	2017.10.20	河川	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者

(株)岩手建設コンサルタント

点検責任者

佐藤 裕之

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I				
	横桁	I				
	床版	I				
下部構造	I					
支承部	I					
その他	II	破断	写真1、ドレーンパイプ(A1)			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
I			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点側	終点側
2014年	37m	4.20m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。